

「これは、どこの国旗？」

活動展開例

【ねらい】

コミュニケーション活動	太陽や月、星など天体をモチーフにした国旗に興味を示し、国名や場所などについて質問したり教えたりする。
言語・文化の理解	世界の国旗には、太陽や月、星など天体をモチーフにしたデザインが多いことを知り、背景にある人々の生き方や考え方などについて理解する。




【主な言語材料】

- ・ What is this country? ・ Is this the sun? ・ Where is it?

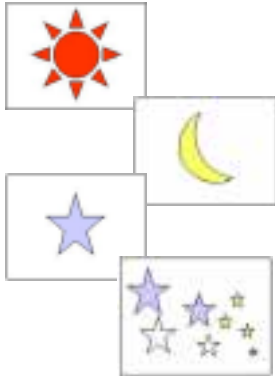
【準備】

教師	国旗（裏面がワークシート）、南十字星の写真（可能であれば）
児童	色鉛筆またはマジック（5色）

【展開】

時間	活動内容 ねらい	留意点	教師の動き	予想される児童の反応
↑	1 英語であいさつをする。 明るく元気な雰囲気を作る。		1 元気よくあいさつをする。 Hello, everyone. How are you?	
	2 天体が描かれた国旗を見る。 天体を描いた国旗に興味をもたせる。		2 天体が描かれた国旗を見せる。 (日本、アメリカ、オーストラリア、シンガポール) これらは、どこの国の旗か知っていますか。	
7分	 (日本)		日本、アメリカ、オーストラリア、(ニュージーランド)、、シンガポール	
	 (アメリカ合衆国)		そうだね。では、ここにある国旗の共通点は何だろうね。	
	 (オーストラリア)		赤い色が使われている、.....空にあるものが描かれている。	
	 (シンガポール)		そうです。全て天体が描かれています。日本の国旗は、「日の丸」というくらいだから、太陽を意味しているんだよ。	
			では、これらの天体について英語で何とよいか知っていますか。太陽、月、星、.....、英語で言ってみましょう。	
			sun,, moon,.....,star.	
			That's right. Good. 「star」は、「スター選手」という言葉があるように、今ではほとんど日本語としても通じるね。	
			また、オーストラリアの国旗に描かれた星は、ある星座を表しています。何という星座がわかりますか。	
		、南十字星（南十字座）、.....	
			そうです。南十字星です。残念ながら日本からは見ることが	

冠詞や複数形については細かく説明せず、発音練習を通して the, a, ~s を区別させる。



できませんが、南半球のオーストラリアからはきれいに見えるのでしょうか。英語では the Southern Cross と言います。

では、これらの天体について英語で言う練習をしましょう。太陽や月の前には the をつけ、the sun, the moon となります。星は一つの場合は、a star、たくさんある場合は、stars と言います。

the sun, the moon, a star, stars, the Southern Cross

the sun, the moon, a star, stars, the Southern Cross

OK. Very good.

現在、世界には194の国がありますが、その中で、日本やオーストラリアなどのように星、太陽、月など天体をデザインした国旗の数は、およそどれくらいだと思いますか。

10、25、・・・50、・・・100、・・・

実は70ヶ国以上で、およそ全体の40%にあたります。

3 国旗を受け取り、国名やモチーフ、場所を確認する。
会話の前に知識を整理させる。

国旗の裏面は、会話の中でワークシートとしても活用する。

3 国旗（裏面に国名やモチーフ、場所についての説明を記載したもの）を児童に配付する。

では、活動の準備をします。国旗の裏側を見て、国名、描かれている天体、地図上の場所を確認してください。周りの人とは見せ合わないで、声に出さず一人でやりましょう。

本時で扱う国旗（8種類）
 < 太陽 > ウルグアイ、バングラデシュ < 星 > ベトナム、カメルーン < 南十字星 > ニュージーランド
 < 月 > パラオ < 三日月・星 > トルコ、モーリタニア

4 活動の説明を聞く。
活動方法と記入方法を理解させる。

クラスの実態に応じて、児童が理解しやすいようにルールを説明する。

4 ワークシート（世界地図）を配り、活動の説明をする。

今からルールを説明します。

< ルール >
 自分と異なる国旗をもっている友達に話しかけ、次のことについてお互いに質問したり教えたりする。
 ・国名 ・モチーフは何か ・地図上の場所
 モチーフの種類ごとに色を分け、それぞれの国の場所の印に色を塗る。（白地図上）
 ・太陽 赤 ・月 黄 ・星 青 ・南十字星 紫
 ・月&星 緑（イスラム圏）

8分

5 教師の話聞き、白地図に色を塗る。
英語を聞くことに慣れさせると同時に活動

5 黒板に掲示してある4つの国旗を例にしながら、実際にワークシート（白地図）に色を塗る練習をする。

< 日本 >

方法を確認させる。

色を塗らせるときには、地図上の印を指しながら説明する。



6 会話練習をする。英語の言い方に慣れさせ自信をもたせる。

3種類の言語材料が提示されているが、活動のねらいや児童の負担等を考え、天体に関する質問(例: Is this the sun?)だけを英語で行い、その他の会話については、日本語で行うこともできる。

指導資料を参照

天体の前に置く冠詞の区別及び、言語活動の扱いについて

指導資料を参照

児童が自信をもって楽しく活動できるよう十分に練習する。

より自然な会話にするために、

「Excuse me.」「Thank you.」などの言葉をつけ足すこともできる。

国名は、難易度を考慮し、カタカナ表記と同じ発音でよいこととする。

2時間計画で行う場合は、1時間目に国旗を作成し由来について調べておいて

OK. Let's practice. This is Japan. And this is the sun. So please paint this in red.

< オーストラリア >

And this is the Southern Cross. (南十字星) So please paint this in purple.

< アメリカ合衆国 >

They are stars. There are fifty stars. So please paint this in blue.

< シンガポール >

This is Singapore. There are the moon and stars. So please paint this in green.

これで色の塗り方は分かりましたか。会話の中でもこのように塗ってください。ここでは、取り上げませんでした。月が描かれている場合は、(その国の場所に)黄色を塗ってください。

6 会話で使う表現を練習させる。

次に、会話の練習をします。少し練習してみましょう。

友達に国名を聞くときの言い方です。 What is this country?

What is this country?

国名を答えます。例えば、……。 It's Japan.

It's ~ . * 「It's ~」の部分は、国名を入れ換えて練習する。

国旗に描かれているもの(天体)について質問します。 Is this a star? (the sun/the Southern Cross/the moon)

Is this a star? (the sun/the Southern Cross/the moon)

Yes, it is. / No, it isn't.

Yes, it is. / No, it isn't.

最後に、場所について質問する言い方です Where is it?

Where is it?

地図を指さしながら教えてあげましょう。 Here.

20分

もよい。

Here.

7 活動に取り組む。
積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

7 活動に取り組ませる。

地図上の国の位置と、国旗のデザインとの間には何か関係が隠れているかもしれません。そんなことも考えながら活動してみましょう。
間違いを気にせず、積極的に話しましょうね。
OK. Are you ready? Let's start.

ここが大切！
コミュニケーション活動には、少なくとも10分程度は時間をとりたい。



OK. Time is up. Please go back to your seat.

8 各国の国旗について、考えたことや想像したことを発表し合う。
いろいろな天体に込められた願いについて考えさせる。

8 世界地図を参考にしながら、気づいたことや思ったことを発表させ、代表的な意見を取り上げる。

・(白地図上の)同じ色の国同士でどんな共通点がありますか。
・これらの国旗にどんな願いが込められていると思いますか。

太陽は、どこの国の人にとっても生命の源で大切だから。

南十字星の国旗は、オーストラリアの近くに集中している。

南十字星は、南半球の人々にとっても大切な星だから。

月をデザインした国旗は少ないなあ。

星はいろいろな国旗に使われているなあ。

三日月と星の国旗は、どんな意味があるのかなあ。



9 いくつかの国旗の由来について教師の説明を聞く。

活動で扱った中の代表的な国旗について理解を深める。

9 いくつかの国旗の由来を説明しながら、それぞれの天体に込められた人々の願いを紹介する。

太陽を国旗に採り入れている国は、日本も含めて15ヶ国あります。様々な地域の国が国旗に採り入れている、繁栄、躍進、自由などの象徴として用いている国が多いです。

太陽(日本)、

10分



「日の丸」の正確な起源は分かっていませんが、昔から太陽を大切にしてきた民族ということが言えそうです。江戸時代は、薩摩藩(鹿児島県)の船印でした。開国後、外国の船と識別するために日本の船は「日の丸」をつけて運行しました。法律で日本の旗と決まったのは、つい最近で1999年です。

月(パラオ)



パラオの国旗の青い部分は、海と平和を表し、黄色の丸は陸、静寂、満月を意味しています。ところで、これはある国の旗を真似てデザインしたそうです。どこの国だと思えますか。

日本、バングラデシュ、……………

正解は日本です。昔、日本が統治していた時代に、いろいろな建物を建てるなどパラオの社会環境を整備したことから、日本に対してとても好意的なんだよ。でも、よく見ると黄色の円が中心からずれています。日本に失礼だからわざと中心はずしたという説があります。

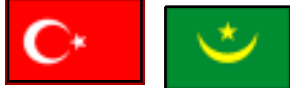
星



星を描いた国旗が最も多く、その国の州、民族などの数を示したり、理想や主義などの象徴に使われたりしています。どうして多くの国が、星をデザインした旗を好むのかなあ。……

星には、憧れや夢をかなえてくれるものというイメージがあるのかもしれない。

三日月と星
(イスラム教の国)



三日月と星をデザインした国旗を使っている国には、ある共通点があります。何だと思えますか。

……………、石油が採れる。キリスト教、……………、イスラム教

児童が答えられなければ、「宗教に関係があります。」などヒントを与えてもよい。

全てイスラム教の国です。トルコ(イスラム教)がこのデザインにしてから、多くのイスラム教の国が採り入れてきました。

10 各国の国旗を理解し尊重し合う意識をもつ。

お互いの国旗を尊重する態度を養う。

お互いの国旗を尊重する場面の一例として、オリンピックなどの表彰式の場面を扱うこともできる。

10 国際社会では、それぞれの国旗に託された思いや願い、制定の由来を踏まえた上で、互いの国旗に敬意を表していくことが大切であること伝える。

国旗には、そこに住む人のいろいろな思いや願いが込められていることが分かったね。今日取り上げた国旗は、ほんの一部ですが、その他の国旗にもにも必ず由来があるはずですよ。オリンピックでは、表彰される選手が帽子をかぶって脱いで、胸に手を当てて、国歌を歌いながら国旗掲揚を見ているね。お客さんも国旗掲揚が終わった後で大きな拍手をするね。お互いに尊重しているんだね。

11 英語であいさつ

11 あいさつをする。

OK. That's all for today. Good-bye everyone. See you.

Good-bye. See you.